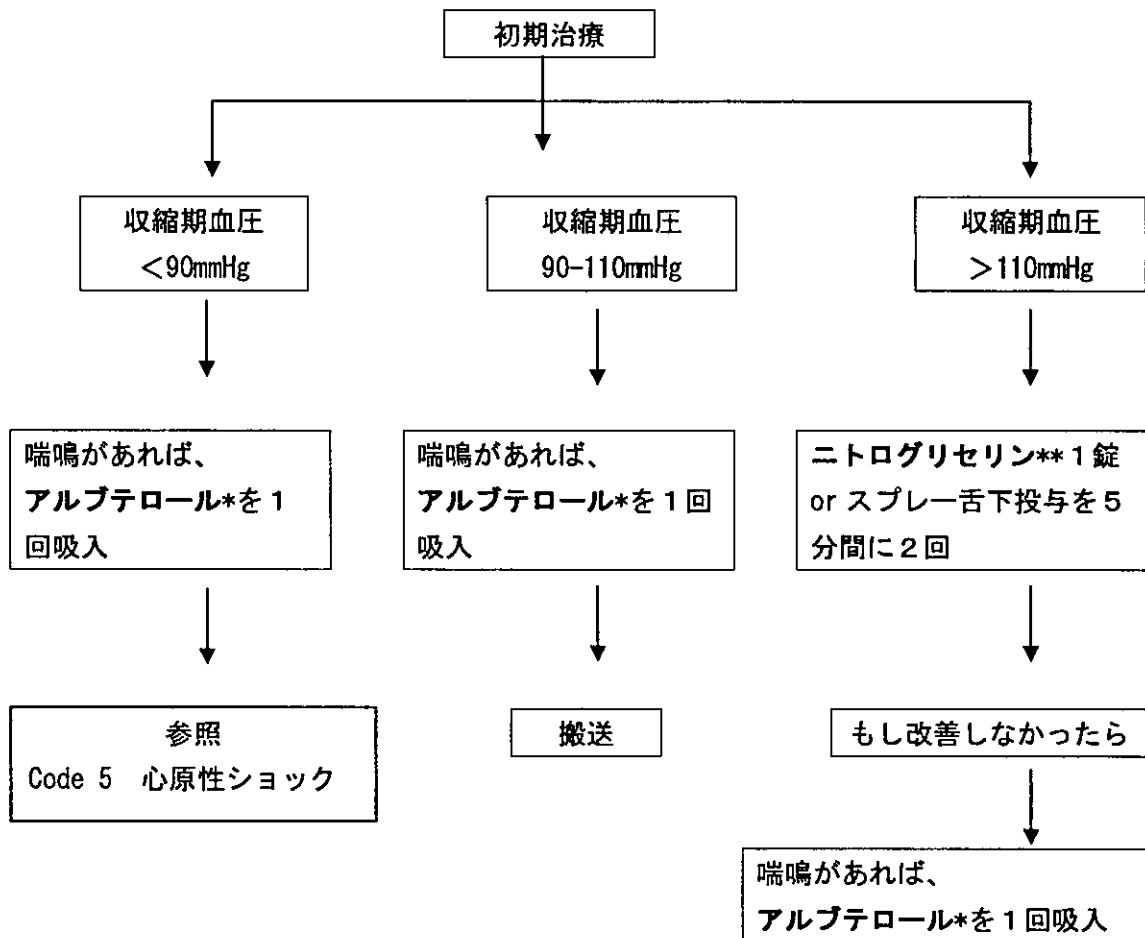


心疾患（心機能低下が起因となる肺水腫）のスタンディングオーダーの一例



※ 救急隊員が注意すべき点：

- メディカルコントロールに連絡：患者にアルブテロールまたは、ニトログリセリンが処方されているときには、患者の自己管理を補助する

搬送

救急救命士制度の各国比較

国名(市)	救命士資格名	救命士前教育時間	救急救命士養成時間(時間)	MC体制	可能な特定行為	病院実習時間	スタンディングデスクメソッド	使用できる薬剤		薬剤投与開始年
								内訳	数	
アメリカロサンゼルス市	EMS-P	114時間 EMS-I	1053時間	○	気・薬・除・胸穿・気切	640	○	別表	34剤	1978年
アメリカシアトル市	EMS-P	120時間 EMS-B	2500	○	気・薬・除・胸穿・気切	1700	○	別表	50剤	1978年
アメリカハワイ市	EMS-P		1250	○	気・薬・除・胸穿・気切	780	○	別表	30剤以上	
アメリカシカゴ市	EMS-P	350時間 EMS-B	1050	○	気・薬・除・胸穿・気切	430	○	別表	45剤	1977年
アメリカボストン市	EMS-P		1000	○	気・薬・除・胸穿・気切	670	○	別表	34剤	
フランス	存在しない	救急隊員	SAMUが代	○	医師が実施	-	-	-	-	-
ドイツ	救命士アシスタント	520時間 (サニター)	2000時間	直接MC ○	医師が同乗 気・薬・除 やカテ入を直 接指示	180	現場での医 師の直接指 示	-	10剤	
イギリス	認定救命士	6週間 (救急隊員)	10週間	○	気・薬・除	4週間	○	エビネフリン、リドカイン、アトロピン、ニトログリセリン舌下、ジアゼパム、鎮痛薬、気管支拡張薬	7剤	
ノルウェイ							×			
オーストラリア(サウズウェールズ州)	認定救命士		760	○	気・薬・除	520	○	エビネフリン、リドカイン、アトロピン、ニトログリセリン舌下、ジアゼパム、鎮痛薬、気管支拡張薬	7剤	
韓国	第一級 応急救命士	第二級 応急救命士	2年	○	気・薬・除	2年	×	エビネフリン、ブドワイテ糖、ニトログリセリン舌下	3剤	2004年
日本	救急救命士	救急隊員 250時間	750~1095時間 (薬剤を含む)	○	気・薬・除	80	×	エビネフリン	1剤	2006年

処置記載：生：生体への薬剤投与、気：気管挿管、除：除細動、

気切：気管切開（甲狀軟骨間胞切開）、胸穿：胸腔穿刺

薬剤名：強心剤（強）、昇圧剤（昇）、輸液（輸）、皮下注（皮下）、経口（経口）、吸入剤（吸）、坐薬（坐）、経皮剤（皮）

空欄：調査中

(別表)

代表的な使用できる薬剤の内訳

薬品名 (一般名)	種類：主な適応疾患・病態	薬品名 (一般名)	種類：主な適応疾患・病態
活性化炭	中毒などの吸着剤	ロゼパム	抗けいれん薬、鎮静薬
アルブテロール	気管支拡張薬 (β_2 刺激薬)	硫酸マグネシウム	電解質
アミノフィリン	気管支拡張薬、静脈内投与薬	マンニトール	利尿薬
アスピリン	鎮痛解熱薬、血小板凝集阻害薬	メペリジン	麻薬性鎮痛薬
硫酸アトロピン	副交感神経遮断薬	メタプロテノール	気管支拡張薬 (β_2 刺激薬)
ベリチウム	抗心室性不整脈薬	硫酸モルヒネ	麻薬性鎮痛薬
塩化カルシウム	電解質	ナロキソン	抗麻薬薬
シアン中毒キット	解毒薬	ニトログリセリン	血管拡張薬
5%ブドウ糖液	輸液薬	笑気	吸入麻酔、鎮痛薬
ジアゼパム	抗けいれん薬、鎮静薬	ノルエピネフリン	カテコラミン
ジフェンヒドラミン	抗ヒスタミン薬	酸素	ガス
ドブタミン	カテコラミン	オキシトシン	ホルモン (子宮収縮薬)
ドパミン	カテコラミン	プロカイネアミド	抗不整脈薬
ドロペリドール	催眠、鎮静、制吐薬	プロバラケイン	局所麻酔薬
エピネフリン	カテコラミン	プロプラノール	β 遮断薬
フルマゼニル	ベンゾジアゼピン拮抗薬	ラセミエピネフリン	カテコラミン
フロセミド	利尿薬	炭酸水素ナトリウム	アルカリ化薬
グルカゴン	ホルモン	ステロイド (デキサメタゾンなど)	ステロイド
イペカク	催吐薬	ストレプトキナーゼ	血小板凝集阻害薬
イソエチレン	気管支拡張薬 (β_2 刺激薬)	サクシニルコリン	筋弛緩薬
イソプロレノール	カテコラミン	硫酸テルブタリン	気管支拡張薬 (β_2 刺激薬)
ラベトロール	交感神経遮断薬	チアミン	ビタミン
リドカイン	抗心室性不整脈薬	組織プラスミノール ペラミール	血小板凝集阻害薬
		ペラパミール	Ca拮抗薬

卒後教育体制の各国比較

	アメリカ	ノルウェー	オーストラリア		韓国	中国	インド	日本
			クイーンズランド	ニューサウスウェールズ				
卒後教育の有無		○		×	△	×	×	○
卒後教育におけるACLSの有無		○	○	×	△		×	△
卒後教育におけるBCLSの有無		○	○	×	×		×	△
卒後教育におけるATLSの有無		○	○	×			×	×
病院内の研修の有無		○	○	×			×	○ 128時間
病院研修の内容			Hazmat, Advanced				short BLS certification	
パラメディックの資格更新プログラムの有無		○	○	○	×	×	×	×
更新の頻度		年1回	年1回	2年に1回	年1回	NA	NA	NA
更新時の教育プログラム		CPR, Trauma procedures, Medication procedures	Recertification in ALS, ATLS, APLS					

○：実施 ×：未実施 △：一部実施 空欄：調査中

ACLS: Advanced Cardiovascular Life Support BCLS: Basic Trauma Life Support ATLS: Advanced Trauma Life Support